

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400060
事業所名	グループホームかがやき

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	法人として地域に馴染んでおり、自治会は未加入だが、地区役員の理解があり、行事の案内や参加の呼びかけがある。ウォーキング大会には、入居者と一緒に参加するとともにトイレ休憩の場所を提供した。ウォーキングクラブの活動に参加して、ホームの様子を伝えながら理解や協力を求めている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	会議は同法人のグループホームと合同で開催しており、年6回実施する予定である。災害時の話し合いでは、地域の方から助けて欲しいこともあるという発言があり、協力や連携をお願いした。家族からは災害時の地域、家族への連絡についての質問があった。ホームから幹部職員の携帯電話の番号を開示し、問い合わせに答えたいこととした。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	ホーム便りを毎回送付したり、介護相談員を受け入れており、ホームの実情を把握してもらっている。新設のため市の担当者から様子を尋ねられることが多く、情報を提供している。開設当初は設備の確認や申請などで市役所に相談することが多かった。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	全家族に運営推進会議への参加を呼びかけ、報告書を配布している。面会時には声をかけ要望等聞くよう努めている。外部評価の家族アンケートで出された意見については、回答をしている。家族から、入居者の布団の日光干しについて質問や要望があったため、状況を説明した上で改善策を立て対応している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	/
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。